



大阪府指定文化財 奈加美神社本殿 慶長15年(1610)造営

御神縁を頂いて、十年の歲月
奈加美神社 宮司 北岡忠澄

なかがみの郷

祝祭日は国旗「日の丸」を揚げましょう

白地に赤く 日の丸そめて

ああ美しい 日本の旗は

(日本の唱歌より)

第17号

平成27年
7月15日発行

奈加美神社

泉佐野市中庄 834
電話 462-7080

平成十七年四月に奈加美神社の宮司に就任してより、早くも十年が過ぎました。恥ずかしな以前はこの奈加美神社の存在すら知りませんでした。私の実家は岬町

谷川に鎮座する産土神社(うぶすなじんじや)で、父が宮司を務めております。私は現在もそうなのですが、以前より大阪市の本町に鎮座する摂津国の一之宮・坐摩神社(いかすりじんじや・通称ざまじんじや)の神職を兼任しております。お宮参りや地鎮祭などお祓いのお申し出を頂いた時にはお休みを頂いて、そのご奉仕や境内のお掃除などの社務を行っております。家内も神職の資格を取得しており、普段のお祓いなどのご奉仕にあたり、家族で神社をお守りさせて頂いております。

本町への通勤は専ら南海電鉄にお世話になっておりますが、十数年前に南海電鉄の情報誌に奈加美神社のご本殿(大阪府指定文化財)が紹介されており、その時に初めて奈加美神社の存在を知ることになります。朱塗りの綺麗なご本殿が特に印象に残りました。

数年が経ち、平成十六年の年明けに車で二十六号線を通ると、ちょうど十日戎・奈加美神社の幟が目につきました。奈加美神社？ど

こかで聞いたことがあるな、と職業柄気になつてお参りをさせて頂きました。ああ、あの時の朱塗りのご本殿の神社がこんなところにあつたのかと納得。ひっそりしていました。が、こじんまりとまとまっていたいお宮さんだなあと印象でした。偶然の通りすがりに戎さんの幟が偶然目に留まり、偶然お参りをさせて頂いた訳ですが、その数日後、神社庁の支部長から父親の元に連絡が入り、お宅の息子さんを奈加美神社の宮司にどうだという打診がありました。父親からその話を聞いてびっくりしました。奈加美神社といえば、ついこの間お参りさせて頂いたばかりの神社だ！と随分と驚いたことを覚えています。偶然は必然とよく申しますが、これは御神縁。奈加美神社の神様に見初められ、引き寄せられていくように強く感じました。正直なところ他社との兼務という決していい条件ではありませんでしたが、この不思議な「縁」を大切にさせて頂き、頑張りがいがあるだろうと決意して家族で移って来た次第です。

当時三十歳の若さで宮司に就任させて頂きました。神職経験はあるものの地縁がほとんど無く、右も左も分かりませんでした。が、

当時の総代会長さんを始め、総代会や敬神婦人会、町会長さんや農業役員の方々の皆さん、地域の皆さんに親切にして頂き、支えられ、やっとな慣れて来たかと思えばもう十年。月日が経つのは早いものです。

私はもともと植物を育てるのが好きで、産土神社では「花菖蒲」を、坐摩神社では神紋に因んだ「さぎ草」や「紫陽花」を栽培しております。



改修前の奈加美神社本殿側面



改修前の本殿側面の妻組の藤

奈加美神社でも何か特徴のある花をと考えたとき、やはり神紋が藤巴(巴藤)なので「藤」にしよう、藤の栽培を始めました。単純過ぎて笑われるかもしれませんが、これませんが、とにかくやってみようと、藤の苗木を茨城県から取り寄せ、せっせと育てています。

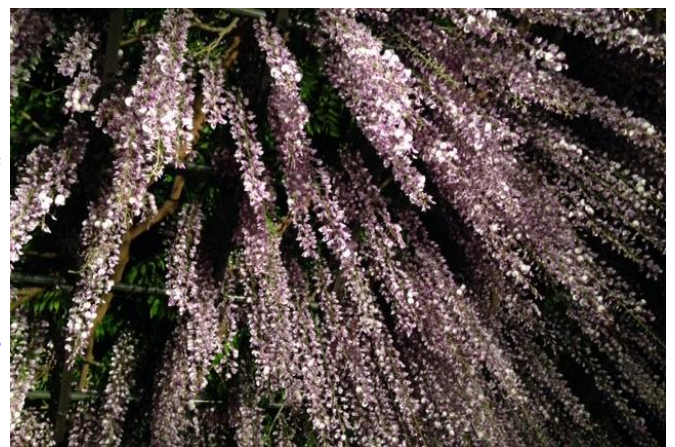
価値があるんだという強い思いも有りますので、十数種類の藤を苗木から育て、十年後、或いは二十年後、三十年後と頭の中で思い描きながらコツコツと励んでおります。

そして節目の十年目、今年は藤棚に見事な九尺藤が咲き誇りました。

この九尺藤は藤棚用の若木を仕入れ、植えてから六年ですが、棚の端まで蔓を伸ばし見事に咲いてくれました。こうなってくると達成感があります。今年はさらに藤棚を延長をしました。その棚に蔓を伸ばし花が咲くには数年掛かるかと思いますが、気長に取り組みたいと思います。その他の品種の藤も少しずつ充実してきておりますのでご期待下さい。



また今年も十年の節目を記念して山紅葉を三本、桜の新品種「舞姫」を三本植樹しました。これもまた十年後が楽しみです。とは言えもちろん花のお世話ばかりしている訳ではありません。



(九尺藤のライトアップ)

平成二十年には氏子各位のご協力を賜り、新社務所の建設、翌年は拝殿改修、境内整備を行い、奈加美神社改称百周年記念大祭を斎行。平成二十四年に神社本庁の神社振興対策モデル神社の指定を受

け、氏子青年会を結成。神事に於いても、総代会、敬神婦人会、氏子青年会、農業団体の協力を頂き、大祓式や春祭り、御田植え祭など四季折々の祭りに力を注いでいます。以前に比べると随分と多くの参拝者にお越し頂くようになりました。

「神は人の敬によって威を増し、人は神の徳によつて運を添ふ」という言葉があります。神職の務めは神事の厳修、境内の維持管理、そして神様と氏子さんを繋ぐ仲執り持ちです。氏子さんの敬いが強ければ強いほど神様の御神威は増し、その御神威が氏子さんに還元され、「おかげ」を頂くことができます。

神社はその空間に存在するだけでは成り立ちません。氏子さんの信仰や思いがあり、そして神様の「おかげ」があり、相互の関係を保ちながら千数百年の歴史を紡いできました。長い歴史の中で戦乱戦火に巻き込まれ、衰微した時期もありますが、その都度氏子さんの力で立ち直ってきました。戦後の再興も同じであると思いますが、現在の奈加美神社があるのは、氏子さんや歴代宮司さんのご努力の賜物であります。

そういった事を肝に銘じ、今後の神社の護持運営に力を尽くす所存でございますので、皆様方にはどうぞご協力の程宜しくお願い申し上げます。

御祭神の紹介

～ 湊・八坂神社 素盞鳴尊 ～

奈加美神社には中庄・上瓦屋・湊の字々に祀られていた神々が合祀されています。今回は湊の出屋敷に祀られていた八坂神社のご祭神、素盞鳴尊（スサノオノミコト）について紹介します。

八坂神社は湊村の薬師寺の鎮守社として祀られていた神社です。本社の京都・八坂神社は、祇園さん、祇園さんと親しまれる神社で、京都の夏を彩る祇園祭りは大変有名です。現在も湊に祇園町の名が残るのは八坂神社が鎮座していたからでしょう。

今でも奈加美神社には八坂神社に奉納された石灯籠が現存しますが、元龜四年（一五

七三）と彫られておりますので、今から四四二年前より更に前から存在した神社と言えます。

この素盞鳴尊は天照大御神（アマテラスオオミカミ）の弟君で、月読命（ツキヨミノミコト）と共に三貴神と呼ばれる貴い神様です。神話では「八俣のおろち」の主人公で、疫病災難除けの神として信仰されています。

スサノオは暴れん坊でやんちゃな神様です。姉君のアマテラスがいらつしやる高天原（天上界）で乱暴狼藉を働き、アマテラスは困り果て天の岩戸に閉じこもって、世の中が真っ暗になってしまいます。そこで神々が会議を開き、再びアマテラスにお出まし頂くために神事を行い、無事世の中に光が差し込む

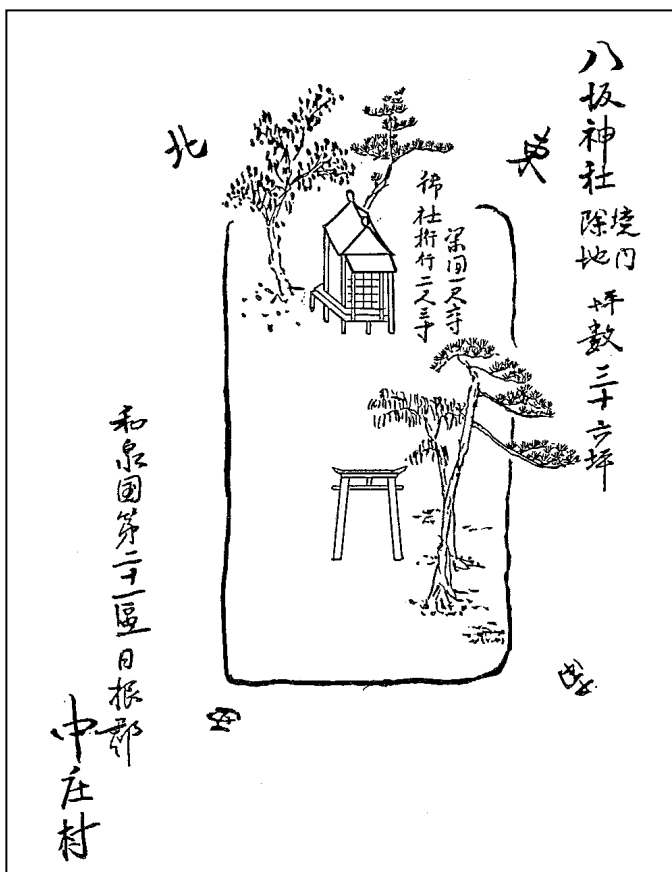
ことになります。

スサノオは追放されて出雲の地に降り立つこととなり、そこで八俣のおろちにおびえる親子に出会います。生け贄に捧げられようとしていた娘・櫛名田比売（クシナダヒメ）を助けようと退治を約束し、八俣のおろちを酒で酔わせて十拳の剣（トツカノツルギ）でやっつけてしまいます。英雄となったスサノオはクシナダと結婚し、子孫を残しました。その六代のちの子孫が、出雲大社の御祭神・大国主神（オオクニヌシノカミ）となります。

このようなことを人に置き換えると、暴れん坊で少々やんちゃであっても、心を入れ替えて人のために尽くすと偉い人になれるよ。というようなお諭しとも言えます。神話を

読んでみると、神様の世界は奇想天外に感じるところもあるかと思いますが、人間じみた面白いお話がたくさんあります。神話には私たち日本人のルーツが記されています。

神話は約一三〇〇年前に編纂されていますが、一三〇〇年前よりさらに遠い昔から伝わる古い伝承を整理したものです。文字ばかりでは退屈かもしれませんが、多数量行されていますので、一度読んでみてはいかがでしょうか。



六月二十日の御田植え祭の様子を写真家の方が撮影下さいました。



当日は天候に恵まれ、五穀豊穡・万物豊作を祈る御田植え祭(虫送り)をご奉仕しました。

安産戌の日まいり



奈加美神社に伝わる大絵馬
円山応挙の門弟により描かれたもので、神功皇后と
応神天皇を抱く武内宿禰。

当社の主祭神は応神天皇（八幡さま）ですが、配祭神には母君の神功皇后がお祀りされており、古事記によると約一八〇〇年前、神功皇后は朝鮮半島に出征した際、お腹に応神天皇を身ごもっており、その時に石を帯の中に巻き付け、帰還後に無事お産みになったことが記されています。このことから神功皇后は安産の神として崇められ、岩田帯の起源にもなったと言われています。

安産祈願は一般的に妊娠五ヶ月の戌の日にお祓いを受け、岩田帯を着帯します。戌の日にお参りするのには犬が多産であり、安産であることに因みます。

目出度く子宝に恵まれた際には、戌の日の安産祈願にお参り下さい。安産御守、岩田帯と共に、普段でも簡易にお使い頂けるコルセット型の腹帯もお授けしております。お電話でのご予約をお願いします。

平成27年 安産戌の日表

6月	3日(水) 15日(月) 27日(土)
7月	9日(木) 21日(火)
8月	2日(日) 14日(金) 26日(水)
9月	7日(月) 19日(土)
10月	1日(木) 13日(火) 25日(日)
11月	6日(金) 18日(水) 30日(月)
12月	12日(土) 24日(木)



ご祈禱のご案内

お宮参り・安産祈願・七五三
厄除け・車のお祓い・地鎮祭
住宅入居のお祓い、各種お祓い
神道家霊祭、神棚の相談等も
受付致しております

お電話にてお問い合わせ下さい

公式ホームページ開設
<http://www.nakami.org>